

BELS 申請書等の記入例

- BELS 申請書 第一面・第二面 （記入例 1 住宅・非住宅共通）
- BELS 申請書 第三面～・設計内容説明書 （記入例 2 非住宅）
→非住宅ビル・・・「建築物全体」と、その「テナント部分」の申請例
- BELS 申請書 第三面～・設計内容説明書 （記入例 3 住宅）
→共同住宅・・・「住棟」と、「306 号室」の申請例
- BELS 掲載承諾書 （記入例 4）

記載例 1 申請書【共通】

(別記様式第7号)

1.【BELS 申請書】
業務方法書に定められた様式を用いること。
「別記様式第7号」
BELS 評価機関の HP 等により入手可能
申請は、正・副2部必要となる。

BELSに係る評価申請書

(第一面)

平成 29年 2月 〇日

2. BELS 実施機関とは…
評価協会の HP 掲載中「BELS 実施機
関リスト」となる。業務区域・業務対象
(住宅・非住宅)に注意すること。

登録BELS評価機関 殿

3. 第二面申請
者と同一で

4. 印を忘
れずに

申請者の氏名又は名称 ○○○○株式会社 印

代表者の氏名 代表取締役 ○○ ○○○

BELSに係る評価の申請をします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

5.【評価機関からのお願い】
業務方法書に定められている、
BELS 事例紹介ホームページへ
の承諾のご依頼。

<評価機関からのお願い>

BELSに係る評価申請の内容について、個人や個別の建築物が特定されない統計情報として、国土交通省に提供することがございますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

また、BELS評価書取得物件は、申請書・評価書に記載されている項目について、(一社)住宅性能評価・表示協会ホームページにて、BELS事例紹介として評価結果等の公表をさせていただきます。ただし、個人や個別の建築物が特定される情報については、掲載承諾書にて公開の承諾が得られた場合に限りです。

6. 別記参考様式第3号

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

記載例 1 申請書【共通】

(第二面)

申請者等の概要

【1. 申請者】

1.【申請者】
申請者には、資格等の要件を求めている。

【氏名又は名称のフリガナ】 ○○○○カブシキガイシャ ダイヒョウトリシマリヤク○○
【氏名又は名称】 ○○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○○
【郵便番号】 000-0000
【住所】 東京都○○区○○○ ○○-○○-○
【電話番号】 03-0000-9999

2. 評価書表示事項

3. 評価書表示事項

【2. 代理者】

4.【代理者】
代理者がいる場合、委任状が必要。

【氏名又は名称のフリガナ】
【氏名又は名称】
【郵便番号】
【住所】
【電話番号】

【3. 建築主等】

5.【建築主等】(下記 注意1)
既存建築物の場合は、所有者等。

【氏名又は名称のフリガナ】 ○○○○カブシキガイシャ ダイヒョウトリシマリヤク○○
【氏名又は名称】 ○○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○○
【郵便番号】 000-0000
【住所】 ○○-○○-○
【電話番号】

6.【設計者等】(下記 注意2)
既存建築物の場合、申請に係る設計内容等に責任を負うことができる者。また、資格欄については、資格を持っていない場合は記入不要。

【4. 設計者等】

【資格】 (一級) 建築士 (○○大臣) 登録 ○○○○ 号
【氏名又は名称のフリガナ】 ○○○○カブシキガイシャ ○○ ○○○
【氏名又は名称】 ○○○○株式会社 一級建築士事務所 ○○ ○○○
【郵便番号】 000-0000
【住所】
【電話番号】

【5. 工事施工者】

7.【工事施工者】(下記 注意5)
既存建築物の場合で、工事を行わない場合は、記載不要。未定の場合は、未定と記載。

【氏名又は名称のフリガナ】 ○○○○カブシキガイシャ ○○ ○○○
【氏名又は名称】 ○○○○株式会社 ○○ ○○○
【営業所名】 建設業の許可 (○○知事) 第 ○○○○ 号
【郵便番号】 000-0000
【住所】 東京都新宿区○○○ 1-1-1
【電話番号】 03-1111-0000

【6. 備考】

(注意)

- 【3. 建築主等】既存建築物の場合、所有者等とします。
- 【4. 設計者等】既存建築物の場合、申請に係る設計内容等に責任を負うことができる者とします。また、資格欄については、資格を持っていない場合は記入不要となります。
- 【5. 工事施工者】既存建築物の場合で、工事を行わない場合は、記載不要となります。
- 申請者等が2以上のときは、別紙に必要な事項を記入してください。

8.【複数申請者等】
別紙を用いて必要な事項の記入

1.【建築物に関する事項】
建築物の概要の記載となる。

記載例 2 申請書【非住宅】

(第三面)

建築物に関する事項

【1. 建築物の所在地】 **東京都八王子市〇〇町1-1-1**

【2. 該当する地域の区分】 (**5**) 地域

【3. 建築物の用途】 一戸建ての住宅 共同住宅等
 非住宅建築物 複合建築物

2. (注意2)の通り
建築物全体で評価書を取得する場合、こ
ちらの名称が評価書に表示される

【4. 建築物の名称】 **(仮称)〇〇〇〇ビル新築工事**

【5. 建築物の階数】 (地上) **4** 階 (地下) 階

【6. 建築物の構造】 **鉄筋コンクリート** 造 一部

3.
建築基準法上の「延べ面積」である。評
価対象部と一致しなくて良い

【7. 建築物の延べ面積】 **14896.88** m²

【8. 建築物の新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)】 (**2017年12月**)

【9. 申請の対象とする範囲】

4.【申請の対象とする範囲】
複数選択可能である
(例えば、図面は共通で、建築物全体及
びテナントの申請が一度に可能)

5.【作成する申請書】
「申請の対象とする範囲」により、
記入する申請書面が分かれる。こ
こでは「第四面」を作成する

一戸建ての住宅 (→申請書第四面作成)
 共同住宅等の住棟 (住戸数 () 戸) (→申請書第四面作成)

建築物全体 (非住宅建築物の全体・複合建築物の全体の場合) (→申請書第四面作成)

住戸 (共同住宅等・複合建築物の住戸部分の場合)
(建築物全体 () 戸)のうち評価申請対象住戸 ()

6. 申請範囲について
BELS 制度では、申請者の要望に応じて、フロア単
位又は部分 (テナント、室などの部分) 単位での評
価を実施することも可能である

フロアによる () 階 (→申請書第五面作成)

テナントによる (1階店舗部) (→申請書第五面作成)

その他部分による () (→申請書第四面または第五面作成)

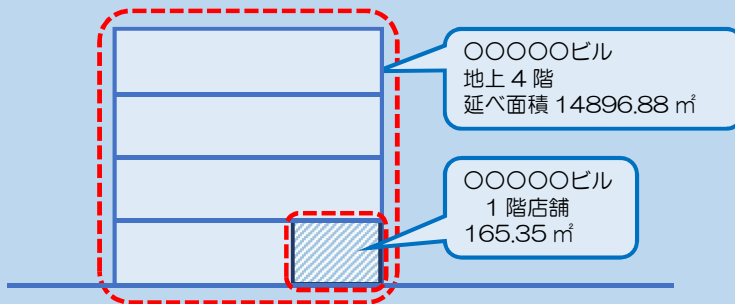
【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 ()

【11. 備考】

7.
ここではテナント単位での申請も同時
に行う。第五面も作成することとなる。

BELSの申請書について

BELSにおける評価は、申請者の要望に応じ建築物全体、フロア全体又は部分(テナント、室などの部分をいう。)単
位での評価を実施することが可能となっている。そのため、申請書については一つの建築物について、申請者の要望に
応じ複数の申請を、一度に行うことが可能となっている。



今回の事例の申請方法では、
・建築物全体の評価書
・1階店舗部の評価書
2通りの評価書が交付される。

(注意)

1. ① この様式で用いる用語は、別に定める場合を除き、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号）で定める用語の定義に準ずることとします。（各面共通）
 - ② この様式で用いる用語の定義は、次のとおりとします。
 - (1) 一戸建ての住宅 住宅の用途以外の用途に供する部分を有しない一戸建ての住宅
 - (2) 共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅
 - (3) 非住宅建築物 住宅以外の用途に供する建築物
 - (4) 複合建築物 エネルギー消費性能計算上複数用途（住宅用途と非住宅用途の場合のみ）となる建築物
2. 【4. 建築物の名称】 建築物の部分で申請する場合を除き、評価書に表示される名称となります。
3. 【9. 申請の対象とする範囲】 申請範囲により、該当するチェックボックス全てに「✓」マークを入れてください。チェックに応じた枚数の評価書が交付されることとなります。また、評価書が複数交付される場合、第四面から第六面を申請単位ごとに作成してください。
4. 【9. 申請の対象とする範囲】 「フロアによる」「テナントによる」「その他部分による」の括弧については、それぞれが申請の単位において二以上である場合等記入できない場合は、行を追加する等による記載を可能とします。
5. 【9. 申請の対象とする範囲】 「その他部分による」とは、建築物の部分で、「フロア」や「テナントによる」以外に該当する場合一つになります。例えば「複合建築物の非住宅部分全体」「複合建築物の住宅部分全体」は「その他部分による」に該当します。
6. 【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 の記載については、申請対象部分を改修する場合に限りません。
7. 【11. 備考】 必要に応じて、プレート等の交付についての依頼の有無を記載することができます。

記載例 2 申請書【非住宅】

(第四面)

申請対象に関する事項 (建築物)

【1. 申請対象となる建築物の用途】

(建築基準法施行規則 (昭和25年建設省令第40号) 別紙の表の

事務所等、百貨店等

1.【申請対象となる建築物の計算対象面積】
計算対象面積としているところに、注意が必要である。(BELSでは、原則、標準入力法の出力の「延床面積」と一致する。)

【2. 申請対象となる建築物の計算対象面積】

14361.29 m² (内、非住宅部分の面積 m²)

【3. 評価手法 (一次エネルギー消費量の計算に用いた方法)】

- 非住宅： 通常の計算法 (標準入力法・主要室入力法)
 モデル建物法
 国土交通大臣が認める方法 ()
- 住宅： 性能基準
 仕様基準
 国土交通大臣が認める方法 ()

2. (注意2) にあるとおり
複合建築物の場合、非住宅部分の面積をこちらに記載。

【4. 外皮性能に関する表示】

- 非住宅： 適合・ - (不適合及び対象外)
・BPI値の記載 (希望する 希望しない)
- 住宅： 適合・ - (対象外) (仕様基準の場合は「適合」のみ、以下の)
・U_A値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)
・η_{AC}値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

3. (注意3) にあるとおり
外皮基準適合の場合のみBPI値の記載について「希望する」の選択ができる。この場合は、評価書に数値が記載されることになる。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となる。

※評価書にはU_A値・η_{AC}値どちらか一方

4.【改修前のBEIの値】
改修工事等を行う場合で、改修前後で異なる数値となる場合に、記載することができる。

【5. 改修前のBEIの値】

- 記載なし 記載する (改修前:)

5.
改修前のBEIの値を記載する場合は、数値の根拠となる計算書や図書等が必要になる。

【6. ZEBに関する表示】

- 『ZEB』 *Nearly ZEB* *ZEB Ready* 記載しない

【7. 住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】

- 『ZEH』 (表示マークはZEHマーク+「ゼロエネ相当」)
 Nearly ZEH (表示マークはZEHマーク+「ゼロエネ相当」)

6.
【ZEBに関する表示】いずれかを選択する場合は、数値の根拠となる計算書等が必要になる。。

【8. 参考情報】

- 記載なし 参考情報を記載した別紙による

7.【住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】住宅の場合のみ記載することとなる。

【9. 備考】

8.【参考情報】
(注意9) に記載されている内容に基づき、別紙に記載することとする。

(注意)

1. 【1. 申請対象となる建築物の用途】 用途が複数の場合は、主要用途をできるだけ具体的に記載してください。
2. 【2. 申請対象となる建築物の計算対象面積】 複合建築物の場合、非住宅部分の面積が分かるように記載してください。
3. 【4. 外皮性能に関する表示】 では、外皮基準適合の場合のみ「B P I、U A値または η A C値の記載」について「希望する」の選択ができます。この場合は、評価書に数値が記載されることとなります。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となります。
4. 【7. 住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】 においていずれかの表示を行うとした場合、8地域を除き【4. 外皮性能に関する表示】におけるU A値記載（適合していることが前提）は必須となります。
5. 【4. 外皮性能に関する表示】 共同住宅等の建築物全体として申請を行う場合、U A値および η A C値は全住戸の平均値が評価書に記載されます。
6. 【5. 改修前のB E Iの値】を記載する場合、実績値の評価はできません。
7. 【6. Z E Bに関する表示】のチェックは、非住宅用途に供する建築物の申請の場合のみ記入することができます。
8. 【7. 住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】のチェックは、住宅の場合に記載することとなります。
9. 【8. 参考情報】 評価書の参考情報に記載を希望するその他省エネルギー性能関連情報や災害対策関連情報及び建築物の販売又は賃貸を行う上で参考となる情報がある場合は別紙に記載してください。

記載例 2 申請書【非住宅】

(第五面)

申請対象に関する事項（非住宅の用途に供する建築物の部分）

【1. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の名称】

1階店舗部

1. 評価書に記載される名称となるため、箇所が特定できる名称とする。

【2. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の用途】

建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）別紙の表の用途の区分）

百貨店等

【3. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の存する階】

1階

【4. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の計算対象面積】

165.35 m²

2. 計算対象面積であり、BELSでは、原則、標準入力法の出力の「延床面積」と一致する。

【5. 評価手法（一次エネルギー消費量の計算に用いた方法）】

通常の計算法（標準入力法・主要室入力法）

モデル建物法

国土交通大臣が認める方法（ ）

【6. 外皮性能に関する表示】

非住宅： 適合・ -（不適合及び対象外）

・BPI値の記載（ 希望する 希望しない）

3. （注意4）にあるとおり外皮基準適合の場合のみBPI値の記載について「希望する」の選択ができる。この場合は、評価書に数値が記載されることになる。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となる。

【7. 改修前のBEIの値】

記載なし 記載する（改修前： ）

【8. 参考情報】

記載なし

参考情報を記載した別紙による 第四面の参考情報と同じ内容とする

【9. 備考】

(注意)

1. この面は、非住宅の用途に供する建築物の部分の申請を行う場合に作成してください。
2. 【1. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の名称】は、評価書に表示される名称となります。フロアやテナントなどの建築物の部分で評価を実施した場合、建築物の部分の評価である旨が分かるように記入してください。
3. 【2. 申請対象となる非住宅の用途に供する建築物の部分の用途】は、申請対象となる非住宅の用途が複数存する場合、当該用途の全てを選択してください。
4. 【6. 外皮性能に関する表示】では、外皮基準適合の場合のみ「BPIの値の記載」について「希望する」の選択ができます。この場合は、評価書に数値が記載されることになります。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となります。
5. 【7. 改修前のBEIの値】を記載する場合は、実績値の評価はできません。
6. 【8. 参考情報】評価書の参考情報に記載を希望するその他省エネルギー性能関連情報や災害対策関連情報及び建築物の販売又は賃貸を行う上で参考となる情報がある場合は別紙に記載してください。

記載例 2 設計内容説明書【非住宅】

(別記参考様式第2号)

(第一面)

設計内容(現況)説明書

建築物の名称	(仮称)〇〇〇〇ビル新築工事
設計者等氏名	〇〇〇〇株式会社 一級建築士事務所 〇〇 〇〇〇

【基本事項】

確認事項	確認項目	設計内容(現況)説明欄		設計内容確認欄	
		項目	設計内容(現況)		
建物の概要	建築物に関する事項	用途	・建築物の用途 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 複合建築物 ・住宅 または複合建築物の住宅部分 <input type="checkbox"/> 共同住宅等、複合建築物の住戸 <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 ・非住宅 または複合建築物の非住宅部分 カッコ内はモデル建物法による用途 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等 (<input type="checkbox"/> 事務所モデル) <input type="checkbox"/> ホテル等 (<input type="checkbox"/> ビジネスホテルモデル <input type="checkbox"/> シティホテルモデル) <input type="checkbox"/> 病院等 (<input type="checkbox"/> 総合病院モデル <input type="checkbox"/> 福祉施設モデル) <input type="checkbox"/> クリニックモデル <input checked="" type="checkbox"/> 百貨店等 (<input type="checkbox"/> 大規模物販モデル <input type="checkbox"/> 小規模物販モデル) <input type="checkbox"/> 学校等 (<input type="checkbox"/> 学校モデル <input type="checkbox"/> 幼稚園モデル <input type="checkbox"/> 大学モデル) <input type="checkbox"/> 講堂モデル <input type="checkbox"/> 飲食店等 (<input type="checkbox"/> 飲食店モデル) <input type="checkbox"/> 集会所等 (<input type="checkbox"/> 集会所モデル) <input type="checkbox"/> 工場等 (<input type="checkbox"/> 工場モデル)	記載図書	設計内容確認欄
	申請の範囲	・申請する評価の範囲 (該当する全て) <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等、複合建築物の住戸 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物全体・複合建築物の非住宅部分全体 <input checked="" type="checkbox"/> フロア・テナントによる <input type="checkbox"/> 共同住宅等の住棟・複合建築物の住宅部分全体 <input type="checkbox"/> 複合建築物全体			

1. モデル建物法の場合は、カッコ内の用途チェック必要。

【参考】申請の対象となる範囲と設計内容説明書の関係

申請の対象となる範囲 (以下代表的な分類)	住宅用 【第二面】	非住宅用 【第三面】	共用部用 【第四面】	住棟用 【第五面】
一戸建ての住宅	○	—	—	—
共同住宅等、複合建築物の住戸	○※1	—	—	—
非住宅建築物全体等	—	○	—	—
フロア・テナントによる	—	○※2	—	—
共同住宅等の住棟等	○※1	—	○	○
複合建築物全体	○※1	○	○	○※3

※1…住戸毎に作成する。ただし別の表を用いることも可能。
 ※2…申請単位毎に作成。ただし別の表を用いることも可能。
 ※3…住宅仕様基準を含む場合は作成不要。

2. 単位については建築物省エネ法に基づく整理となっている。

BELS に関して記載する数値は以下のとおりとします。
 ・ U_A 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・ η_{AC} 小数点第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・年間熱負荷係数 小数点第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
 ・BPI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・BEI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・設計・基準一次エネルギー消費量 小数点以下一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・削減率 1未満の端数があるときは、これを切り捨てた数値を記載してください。
 (一次エネルギー消費削減量とは「基準一次エネルギー消費量－設計一次エネルギー消費量」をいいます。)

記載例 2 設計内容説明書【非住宅】

(第三面)【非住宅用】

非住宅建築物または、複合建築物の非住宅部分

(全体 フロアによる (□別表に記載) テナントによる (□別表に記載))

申請の部分※	
--------	--

※フロア・テナントを複数申請する場合以外は記入不要

1. 標準入力法の出力結果からの転記となる。

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容 (現況) 説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容 (現況)	記載図書欄	
躯体の外皮性能等	外皮計算結果等		<input checked="" type="checkbox"/> 年間熱負荷係数 設計値 (530) MJ / (m ² ・年) 基準値 (682) MJ / (m ² ・年) ・ B P I (0.78)	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表	□適
			<input type="checkbox"/> モデル建物法 ・ B P I ()		

【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容 (現況) 説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容 (現況)	記載図書欄	
基本事項	計算対象床面積		計算対象床面積 (14361.29) m ²	平面図 積図	□適
一次エネルギー消費量	計算結果等		<input checked="" type="checkbox"/> 通常の計算法 計算結果の記入 ・ 設計一次エネルギー消費量 (その他除く) (17164.4) GJ/年 ・ 基準一次エネルギー消費量 (その他除く) (25046.6) GJ/年 …① ・ B E I (0.69)	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書	
設備の概要	設備機器に係る概要	空調設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 機器表 <input checked="" type="checkbox"/> 系統図 <input checked="" type="checkbox"/> 入力シート	□適
		換気設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		照明設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		給湯設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		昇降機	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
	エネルギー利用効率化設備	<input type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による			
ZEBに関する事項	ZEBに関する表示	再生可能エネルギー除き	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年 …② <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) () GJ/年 …③=①-② <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) の基準一次エネルギー消費量 (その他除く) からの削減率 () %削減 …③/①×100	□適	
	※選択した場合のみ	再生可能エネルギー加え	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年 …④ <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを加えた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) () GJ/年 …⑤=①-④ <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) の基準一次エネルギー消費量 (その他除く) からの削減率 () %削減 …⑤/①×100		

2. 申請書第四面と一致。

3. 標準入力法の出力結果からの転記となる。

4. 申請書第四面。ZEB に関する事項を選択した場合は、必ず記載することとなる

記載例 2 設計内容説明書【非住宅】

(第三面)【非住宅用】

1. テナントが複数ある場合など、複数作成する場合、同様の項目を別紙に記載することも可能。

非住宅建築物または、複合建築物の非住宅部分

(全体 フロアによる (別表に記載) テナントによる (別表に記載))

申請の部分※	
--------	--

※フロア・テナントを複数申請する場合以外は記入不要

2. 名称は、テナント等の部分申請が他に無い場合、記載は不要。

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容 (現況) 説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容 (現況)	記載図書欄	
躯体の外皮性能等	外皮計算結果等	<input checked="" type="checkbox"/> 年間熱負荷係数 設計値 (612) MJ / (m ² ・年) 基準値 (720) MJ / (m ² ・年) ・ B P I (0.82) <input type="checkbox"/> モデル建物法 ・ B P I ()	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表	□適	

3. 標準入力法の出力結果からの転記となる。

【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容 (現況) 説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容 (現況)	記載図書欄	
項 基本事項	計算対象床面積	計算対象床面積 (165.35) m ²	<input checked="" type="checkbox"/> 面図 <input checked="" type="checkbox"/> 積図	□適	
消費量	一次エネルギー消費量	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の計算法 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量 (その他除く) (190.55) GJ/年 ・基準一次エネルギー消費量 (その他除く) (226.75) GJ/年 …① ・ B E I (0.85) <input type="checkbox"/> モデル建物法 ・ B E I ()	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書		
設備の概要	設備機器に係る概要	空調設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 機器表 <input checked="" type="checkbox"/> 系統図 <input checked="" type="checkbox"/> 入力シート	□適
		換気設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		照明設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		給湯設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		昇降機	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
	エネルギー利用効率化設備	<input type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による			
ZEBに関する事項	ZEBに関する表示	再生可能エネルギー除き	・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年 …② ・再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) () GJ/年 …③=①-② ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) の基準一次エネルギー消費量 (その他除く) からの削減率 () %削減 …③/①×100	□計算書 □	□適
	※選択した場合のみ	再生可能エネルギー加え	・再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年 …④ ・再生可能エネルギーを加えた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) () GJ/年 …⑤=①-④ ・再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) の基準一次エネルギー消費量 (その他除く) からの削減率 () %削減 …⑤/①×100		

4. 申請書第五面と一致。

5. 標準入力法の出力結果からの転記となる。

6. 申請書第四面。ZEBに関する事項を選択した場合は、必ず記載することとなる

1.【建築物に関する事項】
建築物の概要の記載となる。

記載例 3 申請書【住宅】

(第三面)

建築物に関する事項

【1. 建築物の所在地】 **東京都八王子市〇〇町2-2-2**

【2. 該当する地域の区分】 (**5**) 地域

【3. 建築物の用途】 一戸建ての住宅 共同住宅等
 非住宅建築物 複合建築物

2. 建築物全体で評価書を取得する場合、こちらの名称が評価書に表示される

【4. 建築物の名称】 **(仮称)〇〇〇〇共同住宅新築工事**

【5. 建築物の階数】 (地上) **4** 階 (地下) 階

【6. 建築物の構造】 **鉄筋コンクリート** 造 一部

3. 建築基準法上の「延べ面積」である。評価対象部と一致しなくて良い

【7. 建築物の延べ面積】 **3,207.14** m²

【8. 建築物の新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)】 (**2017年9月**)

【9. 申請の対象とする範囲】
 一戸建ての住宅 (→申請書)
 共同住宅等の住棟 (住戸数 (**43** 戸)) (→申請書第四面作成)
 建築物全体 (非住宅建築物の全体・複合建築物の全体の場合) (→申請書第四面作成)

4.【申請の対象とする範囲】
複数選択可能である
(例えば、図面は共通で、住棟及び複数住戸の申請が一度に可能である)

5.【作成する申請面】
「申請の対象とする範囲」により、記入する申請書面が分かれる。ここでは「第四面」を作成する

住戸 (共同住宅等・複合建築物の住戸部分の場合)
(建築物全体 (**43** 戸) のうち評価申請対象住戸 (**1** 戸))

申請書第六面作成)

フロアによる () 階
 テナントによる ()
 その他部分による () (→申請書第六面作成)

6. ここでは住戸単位での申請も同時に行う。申請書第六面も作成することとなる。

【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 ()

【11. 備考】

(注意) 省略

記載例 3 申請書【住宅】

(第四面)

申請対象に関する事項 (建築物)

【1. 申請対象となる建築物の用途】

(建築基準法施行規則 (昭和25年建設省令第40号) 別紙の表の用途の区分)

共同住宅

【2. 申請対象となる建築物の計算対象面積】

3,785.64 m² (内、非住宅部分の面積)

1. 住棟評価の場合、共用部の計算対象面積+全住戸の計算対象面積となる。

【3. 評価手法 (一次エネルギー消費量の計算に用いた方法)】

- 非住宅： 通常の計算法 (標準入力法・主要室入力法)
 モデル建物法
 国土交通大臣が認める方法 ()
- 住宅： 性能基準
 仕様基準
 国土交通大臣が認める方法 ()

2. (注意3)にあるとおり外皮基準適合の場合のみ U_A 値または η_{AC} 値の記載について「希望する」の選択ができる。この場合は、評価書に数値が記載されることになる。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となる。

【4. 外皮性能に関する表示】

- 非住宅： 適合・ - (不適合及び対象外)
・BPI 値の記載 (希望する 希望しない)
- 住宅： 適合・ - (対象外) (仕様基準の場合は「適合」のみ、以下のチェックは不要)
・U_A 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)
・η_{AC} 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

※評価書にはU_A値・η_{AC}値どちらか一方の記載となります。また、基準値がない場合には記載できません。

【5. 改修前のBEIの値】

- 記載なし 記載する (改修前:)

3. 【改修前のBEIの値】改修工事等を行う場合で、改修前後で異なる数値となる場合に、記載することができる。

【6. ZEBに関する表示】

- 『ZEB』 *Nearly* *Retrofit*

5. 【ZEBに関する表示】非住宅の場合は記載不要。

4. 改修前の BEI の値を記載する場合は、数値の根拠となる計算書や図書等が必要になる。

【7. 住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】

- 『ZEH』 (表示マークはZEHマーク+「ゼロエネ相当」)
 Nearly ZEH (表示マークはZEHマーク) ゼロエネ相当 記載しない

【8. 参考情報】

- 記載なし 参考情報を記載した別紙による

【9. 備考】

6. 【参考情報】(注意9)に記載されている内容に基づき、別紙に記載することとする。

(注意) 省略

記載例 3 申請書【住宅】

(第六面)

申請対象に関する事項 (住戸)

【1. 申請対象となる住戸の名称】

306号

1. 評価書に記載される名称となるため、箇所が特定できる名称とする。

【2. 申請対象となる住戸が存する階】

3階

【3. 申請対象となる住戸の計算対象面積】

68.66 m²

【4. 評価手法 (一次エネルギー消費量の計算に用いた方法)】

性能基準

仕様基準

【5. 外皮性能に関する表示】

住宅 : 適合・ - (対象外) (仕様基準の場合は「適合」のみ、以下のチェック不要)

・ U_A値の記載 (※希望する ※希望しない)

・ η_{AC}値の記載 (※希望する ※希望しない)

※評価書にはU_A値・η_{AC}値どちらか一方の記載となります。また、基準値がない場合には記載ができません。

【6. 改修前のBEIの値】

記載なし 記載する (改修前:)

【7. 住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】

『ZEH』 (表示マークはZEHマーク+「ゼロエネ相当」)

Nearly ZEH (表示マークはZEHマーク+「ゼロエネ相当」) 記載しない

2. (注意5)にあるとおり外皮基準適合の場合のみU_A値またはη_{AC}値の記載について「希望する」の選択ができる。この場合は、評価書に数値が記載されることになる。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となる。

【8. 参考情報】

記載なし

参考情報を記載した別紙による 第四面の参考情報と同じ内容とする

3. 【住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】「記載する」場合は、数値の根拠となる計算書等が必要になる。

【9. 備考】

(注意)

- この面は、住戸の申請がある場合に作成してください。
- この面は、複数の住戸を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面を持って代えることができます。
- 【1. 申請対象となる住戸の名称】評価書に表示される名称となります。住戸の評価である旨が分かるように記入してください。
- 【5. 外皮性能に関する表示】では、外皮基準適合の場合のみ「U_A値またはη_{AC}値の記載」について「希望する」の選択ができます。この場合は、評価書に数値が記載されることとなります。また、「希望しない」を選択した場合は「適合」または「-」の記載となります。
- 【6. 改修前のBEIの値】を記載する場合は、実績値の評価はできません。
- 【7. 住戸の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示】において、いずれかの表示を行うとした場合、8地域を除き【5. 外皮性能に関する表示】におけるU_A値記載 (適合していることが前提) は必須となります。
- 【8. 参考情報】評価書の参考情報に記載を希望するその他省エネルギー性能関連情報や災害対策関連情報及び建築物の販売又は賃貸を行う上で参考となる情報がある場合は別紙に記載してください。

4. 複数の住戸がある場合は、別紙による申請が可能である。

記載例 3 設計内容説明書【住宅】

(別記参考様式第2号)

(第一面)

設計内容(現況)説明書

建築物の名称	(仮称)〇〇〇〇共同住宅新築工事
設計者等氏名	〇〇〇〇株式会社 一級建築士事務所 〇〇 〇〇〇

【基本事項】

確認事項	確認項目	設計内容(現況)説明欄		設計内容確認欄	
		項目	設計内容(現況)		
建物の概要	建築物に関する事項	用途	・建築物の用途 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 複合建築物 ・住宅 または複合建築物の住宅部分 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等、複合建築物の住戸 <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 ・非住宅 または複合建築物の非住宅部分 カッコ内はモデル建物法による用途 <input type="checkbox"/> 事務所等 (<input type="checkbox"/> 事務所モデル) <input type="checkbox"/> ホテル等 (<input type="checkbox"/> ビジネスホテルモデル <input type="checkbox"/> シティホテルモデル) <input type="checkbox"/> 病院等 (<input type="checkbox"/> 総合病院モデル <input type="checkbox"/> 福祉施設モデル <input type="checkbox"/> クリニックモデル) <input type="checkbox"/> 百貨店等 (<input type="checkbox"/> 大規模物販モデル <input type="checkbox"/> 小規模物販モデル) <input type="checkbox"/> 学校等 (<input type="checkbox"/> 学校モデル <input type="checkbox"/> 幼稚園モデル <input type="checkbox"/> 大学モデル <input type="checkbox"/> 講堂モデル) <input type="checkbox"/> 飲食店等 (<input type="checkbox"/> 飲食店モデル) <input type="checkbox"/> 集会所等 (<input type="checkbox"/> 集会所モデル) <input type="checkbox"/> 工場等 (<input type="checkbox"/> 工場モデル)	記載図書	設計内容確認欄
	申請の範囲	・申請する評価の範囲 (該当する全て) <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等、複合建築物の住戸 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物全体・複合建築物の非住宅部分全体 <input type="checkbox"/> フロア・テナントによる <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等の住棟・複合建築物の住宅部分全体 <input type="checkbox"/> 複合建築物全体			

【参考】申請の対象となる範囲と設計内容説明書の関係

申請の対象となる範囲 (以下代表的な分類)	住宅用 【第二面】	非住宅用 【第三面】	共用部用 【第四面】	住棟用 【第五面】
一戸建ての住宅	○	—	—	—
共同住宅等、複合建築物の住戸	○※1	—	—	—
非住宅建築物全体等	—	○	—	—
フロア・テナントによる	—	○※2	—	—
共同住宅等の住棟等	○※1	—	○	○
複合建築物全体	○※1	○	○	○※3

※1…住戸毎に作成する。ただし別の表を用いることも可能。
 ※2…申請単位毎に作成。ただし別の表を用いることも可能。
 ※3…住宅仕様基準を含む場合は作成不要。

1. 単位については建築物省エネ法に基づく整理となっている。

BELS に関して記載する数値は以下のとおりとします。
 ・ U_A 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・ η_{AC} 小数点第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・年間熱負荷係数 小数点第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
 ・BPI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・BEI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・設計・基準一次エネルギー消費量 小数点以下一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 ・削減率 1未満の端数があるときは、これを切り捨てた数値を記載してください。
 (一次エネルギー消費削減量とは「基準一次エネルギー消費量－設計一次エネルギー消費量」をいいます。)

記載例 3 設計内容説明書【住宅】

(第二面)【住宅用】

住宅または、複合建築物の住宅部分

(□一戸建て住宅・■共同住宅等、複合建築物の住戸 (□別表に記載))

1. 複数住戸(全住戸)申請などの場合、同様の項目を別紙に記載することも可能。

住戸番号 ※共同住宅等の場合以外は記入不要 **306号室**

2. 名称は、申請書第六面と一致。

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容(現況)説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容(現況)	記載図書欄	
躯体の外皮性能等	性能基準	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (U_A) 設計値 (0.72) 【W/m ² K】 基準値 (0.87) 【W/m ² K】	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表	□適
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 (η_{AC}) 設計値 (1.2) 基準値 (3.0)		
	仕様基準	躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗値の基準に適合	□仕様書	
		開口部の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 開口部比率の区分: () <input type="checkbox"/> 緩和措置あり <input type="checkbox"/> 窓の断熱 (2%緩和) <input type="checkbox"/> 窓の日射 (4%緩和)		

3. 外皮計算結果からの転記となる。

【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認事項	確認項目	※設計内容説明欄(現況)			設計内容確認欄
		項目	設計内容(現況)	記載図書欄	
基本事項	計算対象床面積		計算対象床面積 (68.66) m ²	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 求積図	□適
一次エネルギー消費量	計算結果等		<input checked="" type="checkbox"/> 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量(その他除く) (48.5) GJ/年 ・基準一次エネルギー消費量(その他除く) (50.1) GJ/年...① ・BEI (0.97) <input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準(住宅部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書	5. 一次エネ計算プログラムの出力結果からの転記となる。
設備の概要	設備機器に係る概要	暖房方式	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による <input type="checkbox"/> () ※仕様基準	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 機器表 <input checked="" type="checkbox"/> 系統図	□適
		冷房方式	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による <input type="checkbox"/> () ※仕様基準		
		換気設備方式	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による <input type="checkbox"/> 全般換気設備(比消費電力0.3以下) ※仕様基準 <input type="checkbox"/> 比消費電力を有効換気量率で除した値が0.3以下 ※仕様基準		
		給湯設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による <input type="checkbox"/> () ※仕様基準		
		照明設備	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による <input type="checkbox"/> () ※仕様基準		
		太陽光発電の使用について	□エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		コージェネレーションの使用について	□エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		住宅の「ZEHマーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示 ※選択した場合のみ	外皮基準		
再生可能エネルギー除き			・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く) () GJ/年 ...② ・再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量(その他除く) () GJ/年 ...③=①-② ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 () %削減 ...③/①×100	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	□適
再生可能エネルギー加え			・再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量(その他除く) () GJ/年 ...④ ・再生可能エネルギーを加えた一次エネルギー消費削減量(その他除く) () GJ/年 ...⑤=①-④ ・再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 () %削減 ...⑤/①×100		

4. 申請書第六面と一致。

5. 一次エネ計算プログラムの出力結果からの転記となる。

6. 申請書第四面。「ゼロエネ相当」に関する事項を選択した場合は、必ず記載することとなる

記載例 3 設計内容説明書【住宅】

(第四面)【共同住宅の共用部分】

共同住宅の共用部分

【一次エネルギー消費量に関する事項】

1. 計算対象面積であり、BELSでは、原則、標準入力法の出力結果の「延床面積」と一致する。

確認事項	確認項目	設計内容(現況)説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容(現況)	記載図書欄	
項基本事	計算対象床面積	計算対象床面積	計算対象床面積 (848.02) m ²	■平面図 ■求積図	
消費量	一次エネルギー	計算結果等	■通常の計算法 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量(その他除く) (226.2) GJ/年 ・基準一次エネルギー消費量(その他除く) (467.4) GJ/年	■計算書 □仕様書	□適
設備の概要	設備機器に係る概要	空調設備	■エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	■仕上表 ■建具表 □矩計図 ■平面図 ■機器表 ■系統図 ■入力シート	□適
		換気設備	■エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		照明設備	■エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		給湯設備	■エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		昇降機	■エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		エネルギー利用効率化設備	□エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		

2. 標準入力法計算プログラムからの出力結果から転記となる。

備考	※計算内容、入力内容等に関して、評価員への伝達事項があれば記入する。
----	------------------------------------

【参考】共同住宅共用部の一次エネルギー算出について

共同住宅共用部の一次エネ算出については、非住宅と同様の方法(標準入力法)で算出する方法が用意されている。また、共用部には外皮基準が設けられていないため、PAL*については検討が不要である。(算出されない)

建築面積	988.61 m ²	
延床面積	848.02 m ²	
3. PAL*による一次エネルギー消費量計算結果		
	設計値	基準値
	PAL* -	
	設計一次エネルギー消費量	基準一次エネルギー消費量
内訳	空調設備 97.38 GJ/年(114.84 MJ/延床m ² 年)	90.21 GJ/年(106.38 MJ/延床m ² 年)
	換気設備 5.41 GJ/年(6.38 MJ/延床m ² 年)	9.82 GJ/年(11.35 MJ/延床m ² 年)
	照明設備 63.97 GJ/年(75.44 MJ/延床m ² 年)	293.83 GJ/年(346.49 MJ/延床m ² 年)
	給湯設備 0.57 GJ/年(0.68 MJ/延床m ² 年)	0.23 GJ/年(0.27 MJ/延床m ² 年)
	昇降機 58.77 GJ/年(69.30 MJ/延床m ² 年)	73.46 GJ/年(86.63 MJ/延床m ² 年)
	効率化設備 0.00 GJ/年(0.00 MJ/延床m ² 年)	
	その他 0.00 GJ/年(0.00 MJ/延床m ² 年)	0.00 GJ/年(0.00 MJ/延床m ² 年)
合計	226.2 GJ/年(266.74 MJ/延床m ² 年)	467.4 GJ/年(551.17 MJ/延床m ² 年)
合計(その他除き)	226.2 GJ/年(266.74 MJ/延床m ² 年)	467.4 GJ/年(551.17 MJ/延床m ² 年)
4. 判定結果		
BPI	(PAL*設計値/PAL*基準値)	-
BEI	(「その他」を除く一次エネ設計値/「その他」を除く一次エネ基準値)	0.49

← 計算プログラム出力結果(抜粋)

BELSでは、「延床面積」とは、その計算対象面積としている。

共用部には外皮基準が設けられていない。

設計内容説明書に記載する一次エネの結果はこちらに表示されている。

※平成29年2月より、評価協会HP上に、共同住宅共用部分に設置する照明設備の一次エネルギー消費量基準への簡易適合判断を公開している。評価対象設備が照明設備のみの場合、活用することが可能となる。

記載例3 設計内容説明書【住宅】

(第五面)【住棟全体用】

共同住宅等全体及び複合建築物全体（住棟で合計値が必要な場合）

【外皮に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容（現況）	記載図書欄	
躯体の外皮性能等	性能基準	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (U_A) 設計値 (0.63) 【W/m ² K】 全住戸の平均値※1 基準値 (0.87) 【W/m ² K】	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表	□適
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 (η_{AC}) 設計値 (1.1) 全住戸の平均値※1 基準値 (3.0)		

※1 共同住宅全体を評価する場合は全住戸の平均値が評価書の表示となります。

1. 全住戸の U_A および η_{AC} の平均値を求める必要がある。

2. 全住戸の外皮計算結果から、平均値を算出したものからの転記となる。

【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認事項	確認項目	設計内容（現況）説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容（現況）	記載図書欄	
基本事項	計算対象床面積	計算対象床面積	計算対象床面積 (3785.64) m ²	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書	□適
一次エネルギー消費量	計算結果等	4. 住棟の場合、(全住戸)(共用部)の合計値となる。 ■通常の計算法 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量(その他除く) (2166.7) GJ/年 ※2 ・基準一次エネルギー消費量(その他除く) (2604.5) GJ/年 ※2 ・BEI (0.84)	3. ここでは、(全住戸) + (共用部) が計算対象面積となる。 5. 一次エネ計算プログラムの出力結果を集計したものから転記となる。		

※2 一次エネルギー消費量は、第二面（全住戸の合計したもの）、第三面（非住宅部分全体）、第四面（共用部）の合計値の記入となります。

備考 ※計算内容、入力内容等に関して、評価員への伝達事項があれば記入する。	<p>【参考】共同住宅における住棟の一次エネルギー算出について</p> <p>共同住宅住棟の一次エネ算出については、以下に示すように、全住戸の合計と共用部における設計値を合計し、星の数に応じた基準値の合計値以下であることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○共同住宅（非住宅用途無し） 住棟評価の判断</p> <p>星の数に応じた評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価対象建築物における一次エネルギー消費量について、 $\begin{aligned} &\Sigma(\text{各住戸設計値})\text{の合計} + \Sigma(\text{共用部設計値})\text{の合計} \leq \Sigma(\text{各住戸星の数に応じた基準値})\text{の合計} + \Sigma(\text{共用部星の数に応じた基準値})\text{の合計} \end{aligned}$ 又は 各住戸の設備毎の仕様基準への適合 かつ $\Sigma(\text{共用部設計値})\text{の合計} \leq \Sigma(\text{共用部基準値})\text{の合計} \quad (\text{※1})$ ※1 BEI=1.0として判断され、☆☆(星2つ)の表示となる。 各住戸における外皮性能(※2)について、 $\begin{aligned} U_A\text{値設計値} &\leq U_A\text{値基準値} \quad \text{かつ} \\ \eta_{AC}\text{値設計値} &\leq \eta_{AC}\text{値基準値} \end{aligned}$ 又は 各住戸の外皮の仕様基準への適合 注 住戸の外皮に仕様基準を用いた場合、当該住戸の設備は設備毎の仕様基準によることとなる。 ※2 建築物省エネ法施行の際現に存する建築物除く。 </div>
---	---

(参考) 共同住宅 住棟の評価にあたり出力結果の集計に用いた計算書類例

一次エネルギー消費量 合計量・平均値 計算書 (全住戸+共用部)

号室	計算対象面積	U _A	η _{AC}	基準一次エネ (その他除く) [MJ/戸・年]	設計一次エネ (その他除く) [MJ/戸・年]	基準一次エネ (その他除く) [GJ/戸・年]	設計一次エネ (その他除く) [GJ/戸・年]	BEI
	A	B	C	D	E	F	G	G÷F
101	68.66	0.58	1.1	49825	43572	49.9	43.6	0.88
102	68.13	0.54	0.9	49488	43422	49.5	43.5	0.88
103	68.13	0.54	0.9	49488	43422	49.5	43.5	0.88
104	68.13	0.54	0.9	49488	43422	49.5	43.5	0.88
105	68.13	0.51	0.9	49559	42654	49.5	42.2	0.86
106	68.68	0.52	0.8	49617	42163	49.7	42.2	0.85
107	68.13	0.54	0.8	49493	42519	49.5	42.7	0.87
108	68.13	0.54	0.8	49493	42519	49.5	42.7	0.87
109	68.13	0.54	0.8	49493	42519	49.5	42.7	0.87
110	68.66	0.58	1	49900	43600	49.9	43.6	0.88
201	68.66	0.7	1.2	50049	46881	50.1	46.9	0.94
202	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
203	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
204	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
205	68.13	0.65	0.9	49563	46657	49.6	46.7	0.94
206	68.66	0.7	1.1	50002	48332	50.1	48.4	0.97
207	68.68	0.67	0.9	49861	46528	49.9	46.6	0.94
208	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
209	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
210	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
211	68.66	0.7	1.1	50099	47178	50.1	47.2	0.95
301	68.66	0.7	1.2	50014	46857	50.1	46.9	0.94
302	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
303	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
304	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
305	68.13	0.64	0.9	49598	46322	49.6	46.4	0.94
306	68.66	0.72	1.2	50058	48496	50.1	48.5	0.97
307	68.68	0.67	0.9	49861	46528	49.9	46.6	0.94
308	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
309	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
310	68.13	0.64	0.8	49532	45927	49.6	46	0.93
311	68.66	0.7	1.1	50099	47178	50.1	47.2	0.95
401	68.66	0.67	1.6	50086	44626	50.1	44.7	0.9
402	68.13	0.62	1.4	49599	44304	49.6	44.4	0.9
403	68.13	0.62	1.4	49599	44338	49.6	44.4	0.9
404	68.13	0.62	1.4	49599	44338	49.6	44.4	0.9
405	68.13	0.62	1.4	49599	44338	49.6	44.4	0.9
406	68.66	0.69	1.6	50073	45571	50.1	46	0.92
407	68.68	0.64	1.4	49871	43710	49.9	44	0.89
408	68.13	0.62	1.2	49570	43437	49.6	43.5	0.88
409	68.13	0.62	1.2	49570	43437	49.6	43.5	0.88
410	68.13	0.62	1.2	49570	43437	49.6	43.5	0.88
411	68.66	0.67	1.5	50047	44621	50.1	44.7	0.9
共同住宅住戸合計	2937.62	26.97	44.9	2137011	1940420			
平均		0.6272	1.0442					
				↓GJへ変換	↓GJへ変換			
				2137.1	1940.5			
共用部	848.02			467.4	226.2			
住棟合計	3785.64	0.63	1.1	2604.5	2166.7			0.84

設計内容説明書第五面に記載されている数値の根拠を示す。

記載例 4

(第一面)

(別記参考様式第3号)

B E L Sに係る評価物件 掲載承諾書

平成 29年 2月 ○日

登録BELS評価機関 殿

申請者（届出者）の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者（届出者）の氏名又は名称 **代表取締役 ○○ ○○○ 印** **○○○○株式会社**

1. 印を忘
れずに

私は、（評価機関）により、BELSに係る評価を受けた下記物件について、一般社団法人住宅性能評価・表示協会（以下「評価協会」という。）の定めるBELS評価業務方法書に従い、（評価機関）及び評価協会に対し、評価結果等の公表について、下記のとおり承諾します。

建築物の名称 **(仮称)○○○○ビル新築工事**

2. 申請書第三面と一致する。

記

ホームページ等への公開・非公開の選択	項目	内容
公開	評価年月日	評価書発行年月日
公開	建築物の所在地及び地域区分	申請書第三面（都道府県のみ）
公開	建築物の階数、延べ面積、構造	申請書第三面
公開	申請対象部分の用途	申請書第四面他
公開	星による5段階のマーク	評価書に表示された星の数
公開	採用した評価手法	申請書第四面他
公開	BEIの値	申請書第四面他
公開	削減率	評価書に表示されたエネルギー消費量の削減率
公開	単位面積当たりの一次エネルギー消費量（設計値・基準値）	評価書に表示された単位面積当たりの一次エネルギー消費量（設計値・基準値）
公開	各設備の単位面積当たりの一次エネルギー消費量等（設計値・基準値）	評価書に表示された各設備の評価結果詳細
公開	外皮基準への適合	申請書第四面他
公開	ZEB又は住宅の「ZEHマーク」「ゼロエネ相当」に関する表示等	申請書第四面他
公開	参考情報の有無	申請書第四面
<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建築物の名称	申請書第三面他
<input type="checkbox"/> 公開 (申請書記載全て) <input type="checkbox"/> 公開 (氏名のみ) <input checked="" type="checkbox"/> 公開 (名称) ※名称の場合は公開する名称を右記欄に記載 <input type="checkbox"/> 非公開	申請者名	申請書第二面 ・申請書の第二面【氏名又は名称】の記載から公開したい内容を選ぶことができます (複数の場合は、代表となる一つが抽出されます) ※公開する名称 ○○○○株式会社
<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (申請書記載全て) <input type="checkbox"/> 公開 (氏名のみ) <input type="checkbox"/> 公開 (名称) ※名称の場合は公開する名称を右記欄に記載 <input type="checkbox"/> 非公開	設計者名	申請書第二面 ・申請書の第二面【氏名又は名称】の記載から公開したい内容を選ぶことができます (複数の場合は、代表となる一つが抽出されます) ※公開する名称

3. こちらに記載されているものは、個人が特定できない部分。

4. 申請書第二面と公開名称が異なる場合。

5. こちらに記載の名称が公開となります。

記載例 4

(第二面)

<input type="checkbox"/> 公開 (申請書記載全て) <input type="checkbox"/> 公開 (氏名のみ) <input type="checkbox"/> 公開 (名称) ※名称の場合は公開する名称を右記欄に記載 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開	工事施工者	申請書第二面 ※申請書の第二面【氏名】公開したい内容を選ぶこと (複数の場合は、代表となる一抽出されます) ※未定の場合は非公開にチェックしてください ※公開する名称
<input type="checkbox"/> 公開 ※チェックがない場合は非公開となります	アピールポイント	※アピールポイント記入欄に、200文字以内でご記入ください。
※アピールポイント記入欄 (非公開の場合は記入不要)		※アピールポイント記入欄 (非公開の場合は記入不要)

1. 工事施工者が未定、又は工事が無い場合は「 非公開」にチェック。

2. 内容については自由に記載することができる。省エネに関するものが効果的と考えている。

1. 公表の内容と公表先について

- ・(評価機関) 及び評価協会は、本承諾書において「公開」と記載されている項目又は「公開」を選択した項目について、「内容」欄に記載された情報に基づき、両機関が発行・作成するホームページや機関誌等において当該評価物件の情報掲載を行います。

2. 記入上の注意

- ・上記全ての欄に記入の上、提出してください。
- ・「ホームページ等への公開・非公開の選択」の欄に「公開」と記載された項目は、個人や個別の建築物が特定されない情報により公開必須になっている項目です。
- ・「ホームページ等への公開・非公開の選択」の欄に□の表示がある項目については、該当するものに または でチェックしてください。

3. 評価協会ホームページ掲載のための注意事項

BELS 事例紹介ページでは、BELS に係る評価申請書の第二面に記載された申請者・設計者・工事施工者 (以下「申請者等」という。) の氏名又は名称部分を自動的に抽出し、評価書の取得した件数等を掲載しております。そのため、同一のものが正しく抽出できるよう、申請者等の氏名または名称は以下の項目に注意して記載して下さい。正しく抽出されない場合は、同一申請者等においても異なる申請者等として分類されます。

(正しく抽出されない例)

- ・略称の混在 (株・(株) は「株式会社」に統一など分類すれば正しく抽出されます)
- ・全角・半角の使い方
- ・同一名称の異なる事業社名 (一字一句同一なもの) は同じものとして集計されます。(回避するために、代表者の氏名まで公開情報とするなど対策をしてください。)

(本件に係わる連絡先)

会社名: ○○○○株式会社
 部署名・役職名: ◎◎部
 氏名: ○○ ○○○
 電話: 000-0000-0000 FAX: 000-0000-0000
 Email: *****@*****.co.jp

3. 集計に関しては、自動抽出のため、こちらの記載事項の確認をすること。